

第四回 地域住宅計画賞 講評

26年前に HOPE 計画ができ、HOPE 計画を推進し発展させるために、各関係者を始め参加者の皆様の英知を集めて、それを様々な形で広く知っていただくこと、この地域住宅計画賞が作られたと記憶しております。

今年は地域住宅計画賞としては4回目になりますが、この賞は1等、2等、優秀賞という賞では無く、賞状にはいろいろな表彰名が付けられております。中には難しい表彰名もありますが、地域住宅計画賞にふさわしいネーミングとさせていただいております。地域住宅計画賞ならではの賞であります。

私ども審査委員会では、応募された様々なご提案を大変長時間をかけ、議論し、それぞれの賞を決定いたしました。

【作品賞】すまいづくり部門

・地域住宅計画賞 『TKK鹿北の家』

・奨励賞 『南山杉の家』

『TKK鹿北の家』は伝統的な工法を用いた作品でありました。そして『南山杉の家』も工法的には似ていて、なかなか優劣が付け難がったのですが、全体的なところを評価すると、やや『TKK鹿北の家』の方が優秀でありましたので計画賞といたしました。

伝統的な工法というのは「釘を使わない」と言いますが、最も重要であるのは手直しができるという事であり、レンガや石の建物と比べると手直しあるいは増改築が割合容易にできる、それが日本の伝統的建築を長持ちする訳です。そういう意味でこの2つのご提案はこれからも広く普及して欲しい、といった事からこの賞を差し上げたところでございます。

・奨励賞 『「体感原理」に基づいた「緑風の家」』

戸建住宅の集合化をする。その「集合化をする」というのは一言で団地を言いますが、その時にグリーンあるいは風の道を巧みに配置して、「みため」、「体感(温度、感覚)」を配置のうまさで実現しようとする試みはこれからも多いに続けて欲しいことです。また、巧みな配置、環境を上手に組み合わせているので奨励すべき対象とな

りました。

【作品賞】 まちづくり部門

・地域住宅計画賞 『八尾地区修景等整備事業』

八尾の町は非常に手踊りが難しいおわらの盆踊りと、思いを誘うその歌の「おわら節」がありますが、非常に難しいけれどもその情緒の大半を醸し出しているのが実は街並みです。しかも夕方、宵々つまる頃に参りますと一層その城郭がその街並みによって伺えます。全国一の観光をおさえているのが街並みであり、それに手を一層加えている、こういうような行動力がおそらく文化を継承するひとつの力になっていると思います。街並みというのは立派だけではない、常に制御している、こういうようなことが大事ということで計画賞を差上げたところであります。

・奨励賞 『ハートアイランド新田一番街・二番街・三番街・四番街』

一つは団地全体を調和のあるデザインとしてまとめる手法を開発したという事で、各住棟の個性を出しながら、かつ全体の調和を守る。これを進めたデザインの進め方に敬意を表しようという事で奨励賞になりました。こういった街並みをつくる時に専門家の係わりがデザインの質の向上に役立つという事もひとつの模範ではないかと思ったところでございます。

【活動賞】 まちづくり活動部門

・地域住宅計画賞 『農家蔵保存利活用による地域づくり』

「グリーンツーリズム」の活動内容は極めて地域的、あるいは地域の個性が歴史を含めて反映している活動であろうと思います。蔵を保存しながらそれを活用していく、この活用は年毎にいろいろな内容が豊富になっていくのではないかと思います。例えば今の季節にイタリアの北側の山に行くと野鳥、獣をとり、それを農家のレベルの高いおいしいお店で振る舞っています。これも「グリーンツーリズム」として相当以前から定着しているようであります。例のように、おそらくそういった発展していく手がかりを作りあげていることが高い評価となったわけであります。

これからもこの「グリーンツーリズム」は全国いろいろな所でそれぞれの工夫で内容を高めて展開するだろうと期待されるところであります。そういう意味で計画賞に値するということになりました。

・奨励賞『建替団地における緑のワークショップ・共同花壇の活動』

建て替えというのは居住者にとっては、悩ましい問題です。この活動は、住んでいる人が自分達の住まいに愛着を持ち、引き続き住み続けるというところに焦点をあてて、そのため近所付き合いあるいはコミュニティーのまとまりを花壇、果実の栽培をし、それを住民が管理をしています。そういった仕掛けで住み続けるきっかけを作った、これは大変大事な管理の技術として評価して良いのではということになり、これが奨励賞とした理由です。

◇ 地域住宅計画も今後も発展するように思いますが、提案の総数が減っているのが残念であると思っております。本日この場を借りて是非皆様方を通じて数多くいろいろな提案が出ますように期待をしつつ講評を終わらせていただきたいと思います。

◎問い合わせ 地域住宅計画推進協議会 事務局

〒102-0071 東京都千代田富士見 2-14-36 FUJIMI WEST 2F

(財)ベターリビング 住まいづくり連携協力部 Tel 03-5211-0584 Fax 03-5211-3169